

地域公共交通検討協議会

日 時：令和5年8月22日（火）13時00分～

場 所：筑紫野市議会 第1委員会室

出席者：赤司泰一座長、辻本副座長、八尋副座長、田中委員、横尾委員、上村委員、高原委員、西村委員、原口委員、白石委員、宮崎委員、山本委員、城委員、古賀委員、坂口委員、段下委員、前田委員、榎木委員、佐々木委員、吉村委員、赤司祥一委員、春口委員
事務局 荒金局長、大久保課長、阿部主査
田中委員、上村委員、白石委員、吉村委員欠席

《議題》

1. 本日の流れ（13時00分～）

（高原委員）懇談会に参加する際、どのような立場になるのか。

（赤司座長）オブザーバーとして参加。意見を求められた場合は、現在検討会を開いて協議していくことを伝え、あくまでも市民の意見集約をするための参加であることを説明。

2. ワークショップ・・・【別紙】（13時10分～）

（ワークショップの内容）

- ①課題を解決するための対策（手段）を検討
- ②地域懇談会の参加者振分けの決定
- ③地域懇談会のレポート作成者の決定

3. 各グループ意見発表（13時45分～）

4. その他

懇談会参加者振分（下線はレポート作成者）

（二日市）山本、段下、春口 （二日市東）八尋、城、坂口、前田

（山口）上村、高原、赤司祥 （御笠）八尋、城、坂口、前田

（山家）原口、吉村 （筑紫）赤司泰、古賀

（筑紫南）辻本、田中（未定）、横尾、西村、宮崎、榎木、佐々木

◆ 終了予定 14時00分

◆ 次回開催日程 令和5年10月13日（金）14時00分～
令和5年10月24日（火）13時30分～

地域公共交通検討 ワークショッピングループ[°]

【二日市・山口地区】(7名) 第2委員会室

上村委員、高原委員、白石委員、山本委員(司会)、段下委員、赤司(祥)委員(発表者)、春口委員(記録)

【二日市東・御笠地区】(4名) 応接室1

八尋副座長、坂口委員(司会)、城委員(発表者)、前田委員(記録)

【筑紫・山家地区】(4名) 議員図書室

赤司座長、原口委員(司会)、古賀委員(記録)、吉村委員(発表者)

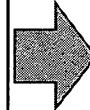
【筑紫南地区】(7名) 第3委員会室

辻本副座長、田中委員、横尾委員、西村委員、宮崎委員(司会)、櫛木委員(記録)、佐々木委員(発表者)

【二日市・山口地区】

(現状・ニーズ)

バスの時間に合わせられない
(本数が少ない、バス停まで遠い(大門、塔原、武蔵、北杉塚))
山部はバスが入り込めない
空白地域(大門、塔原、武蔵、北杉塚、星ヶ丘、二日市北)
習い事の送迎ができたらうれしい(共働きのため)
(子どもたちが乗れるような(ルビ))
ゆめタウン(西鉄、JRまでのバスが少ない)に行けない
高齢者(病院、公民館、買い物) 免許返納できない→事故
コミュニティバスの逆ルートがほしい(戻れない)



(課題(解決すべきテーマ))

無料券(利用促進の取組みを増やす、帯広)
行動計画の作成
MaaS(九州MaaSプロジェクト研究会by九経連)
タクシー乗り合わせ(芦屋市)
デマンドタクシー
AI、タクシーアプリ(Go,DIDI)
民間と連携(民間が持っているバス活用)
(例:ベレッサ、幼稚園、大観荘、保育園、代行タクシー、葬儀社)

【二日市東・御笠地区】

(現状・ニーズ)

交通空白地域（バス停から500M以上、鉄道から800M以上）
は存在しない

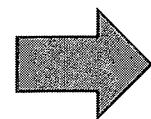
シュミレーション

(例 1)

針摺東の自宅から市役所 41分
阿志岐の自宅から市役所 65分

(例 2)

吉木から筑紫病院まで 73分



(課題(解決すべきテーマ))

夕方の便が少ない（御笠自治会バス）
最寄りの駅に行くバスがない
(JR天拝山駅、西鉄朝倉街道駅、五条駅)
バスの到着時刻が遅れている
空車の時間帯、区間がある
イオンモールへ行けない
高尾交差点など朝夕渋滞(右折レーン、信号)
市街でもバス停まで距離がある
目的地まで時間がかかる

【筑紫・山家地区】

(現状・ニーズ)

高齢者対策

免許返納後の移動手段がない

高齢者の通院

高齢化の進む団地へのバスの乗り入れ

経路

バス停や駅までの距離が遠い

本数の拡大とルートの外回り、内回りと支線のルート

筑紫駅から南方面への経路

原田、美しが丘、光が丘のルート整備

ドアtoドア

出発地と目的地が限定されている。不便

西鉄バスとの連携

西鉄バス営業路線が停止されている。

運送法の影響で公営路線がひけない

筑豊本線

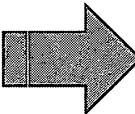
筑豊本線の空列車

(課題(解決すべきテーマ))

高齢者や免許返納者への割引や利用券の補助等

公共交通ルートの見直し、整備

(民間交通会社との市内全体の交通形態を考える)



デマンドバスの民間会社と連携し市内全体へ展開

補助金の継続

筑前町との兼ね合い

筑豊本線の再活用、見直し

【筑紫南地区】

(現状・ニーズ)

- ・坂が多い
- ・500Mは離れていないが、坂道があって距離以上にきつい(負担)、使えない
- ・カミーリヤを利用した後(約1時間)すぐにバスが来ない。
(ダイヤ改正前はタイミング良かった)
- ・路線見直し
筑紫原田線開通によりコミュニティバスの路線見直しをすべきとの意見
- ・昼間 美しが丘南区内からJR原田駅、西鉄筑紫駅までのバスがない
- ・「つくし号」がJR原田駅にこない
- ・美しが丘南から二日市まで1回で行けるように
- ・本数が少ない
- ・カミーリヤバスの便数が少ない
- ・バスを利用しない理由：本数が少ないうえ、バス停まで遠い
- ・目的別に、多様な要望に応える交通網の必要性
(クリニックコース、コミセンコース、買い物用ルート)
- ・そもそも…こない
- ・馬市から最寄りの電車駅まで1キロ以上ある
- ・馬市にはバス路線が通っていない
(西鉄、コミュニティバス、カミーリヤバス含む)



(課題(解決すべきテーマ))

幹線と支線の連携・結合を充実させる。
(市南北、各コミュニティエリア)

コミュニティエリア内の移動を充実させる
(路線見直し、便数見直し)

みかさバスのような…

地域交通バス
美しが丘南・原田の巡回バス

バス停に椅子、屋根があるとよい

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|----------------------|-------------------|
| 地区 | |
| 開催日時 | 令和5年 9月 日() 時～ 時 |
| 出席委員名 | |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | |
| 市民の意見 | |
| 総括 | |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで